エーハイム pH コントロール+e
画面操作マニュアル

※　本マニュアルはデバイス（スマートフォン、タブレット等）による画面操作に特化した内容となっています。本体の設置・使用方法は商品に付属されている取扱説明書をご参照ください。

※　ファームウェアのバージョンによっては、本マニュアルに記載されている画面・内容・機能とは異なる場合がございます。

※　本マニュアルは予告なく変更する場合があります。

内容

1. アイコンの説明 3
2. 初期設定 4
3. 各種設定 11
3.1 設定（全体） 11
3.2 概要（個別） 13
3.3 設定（個別） 13
3.4 複数台接続の方法 14
4. 各モード 16
4.1 マニュアルモード（シンプル） 16
4.2 マニュアルモード（エキスパート） 16
4.3 バイオモード（シンプル） 17
4.4 バイオモード（エキスパート） 17
5. インジケーターLED について 17

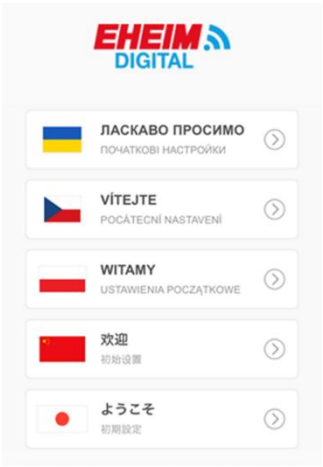
1. アイコンの説明

	ホーム画面
	設定
	水槽情報
	ソフトウェアの更新
	お問い合わせ
	メールアドレス登録・変更
	概要（ｐＨの状況）
	バイオモード（シンプル） 昼間、夜間の開始時間の設定とそれぞれの pH 下限値を設定します。
	バイオモード（エキスパート） 好きな時刻（１分単位）で好きな pH 下限値を設定できます。また入力した KH 値の影響を受けることなく、より低い数値まで pH 値が設定できるようになっています。
	マニュアルモード（シンプル） pH 下限値を設定します。24 時間常にこの pH を下回ったときに電磁弁が閉じ、CO2 添加が止まります。
	マニュアルモード（エキスパート） （シンプル）と比べて、入力した KH 値の影響を受けることなく、より低い数値まで pH 値が設定できるようになっています。

2. 初期設定

ここからの説明は、取扱説明書の「本体無線 LAN とデバイスの接続（Step1.）」が完了してからの画面操作方法となります。

ご注意：ソフトウェアのバージョンによっては、初期設定画面において、KH 値の入力画面と pH センサーの校正画面があらわれないことがあります。その場合でも、製品に同梱されている取扱説明書、および追加の取扱説明書に従い、必ず KH の入力や pH センサーの校正をおこなってから使用を開始してください。

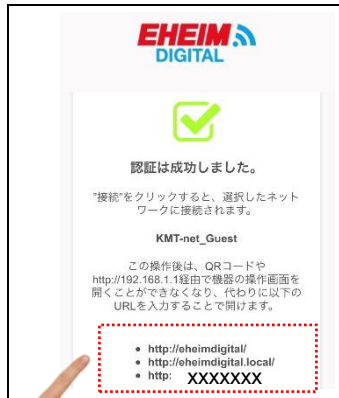
	言語を選択します。
	表示単位（メートル単位もしくはアメリカ慣習単位＝インチ）を選択します。

	水槽の名称を入力します。（任意） 続行をタップして次に進みます。
	pH コントローラーの名称を入力します。（任意） 続行をタップして次に進みます。
	２つのモードのいずれかをタップします。 後からも変更可能です。
	マニュアルモード（シンプル）では、pH 下限値を設定します。24 時間常にこの pH を下回ったときに電磁弁が閉じ、CO2 添加が止まります。

	マニュアルモード（エキスパート）は、（シンプル）と比べて、入力した KH 値の影響を受けることなく、より低い数値まで pH 値が設定できるようになっています。 **ご注意：6.0 を下回るような pH 値は魚類、植物の種類によっては低すぎる場合があります。また、水槽内の KH 値が高いにも関わらず、低い pH 値に設定した場合、KH の緩衝作用により、その pH 値まで下がることなく CO2 が添加され続ける危険性があります。ご自身の飼育している生体に合わせて設定いただくようにご注意ください。**
	バイオモード（シンプル）では、昼間、夜間の開始時間の設定とそれぞれの pH 下限値を設定します。例えば夜間の pH 値を意図的に高い値にすることで夜間の CO2 添加を止めることができます。「スマートコントロール」をタップし、他のエーハイムデジタル機器と同じ時刻設定をそのまま引用することもできます。

	バイオモード（エキスパート）では、好きな時刻（１分単位）で好きな pH 下限値を設定できます。また入力した KH 値の影響を受けることなく、より低い数値まで pH 値が設定できるようになっています。
	 をタップします。
	「設定」をタップします。

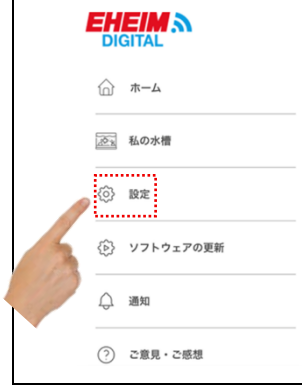
	「ネットワーク」をタップします。
	「使用可能なネットワークに接続」をタップします。
	「ネットワークを検索」をタップします。
	お近くの Wi-Fi ネットワークが検出されますので、選択し、ネットワークのパスワードを入力し接続します。 ※本製品は 5GHz 帯ではご使用いただけません。2.4GHz～2.5GHz の周波数の電波を選択してください。

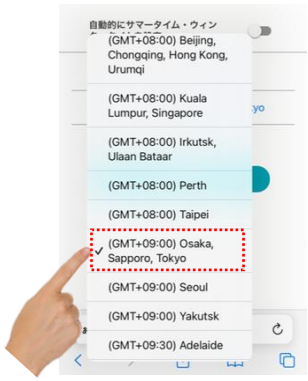
	接続に成功すると最終画面下部に複数の URL が表示されます。後で必要になる URL のため、必ずメモ、スクリーンショットなどで保存してください。
	チェックボックスにチェックを入れ、「接続」を押してください。本体のインジケーターLED が青点灯になるまで待ってからブラウザをいったん閉じてください。
	デバイス（スマートフォン、タブレット等）のネットワーク設定を開きます。 Wi-Fi の接続先候補から#EHEIM pHcontrol_xxxxxxxx が表示されなくなりますので、ご家庭の無線 LAN 等のネットワークを選択してください。

	再度インターネットブラウザを開き、前の手順で表示された 1 番目の URL http://eheimdigital.local/または 2 番目の URL http://eheimdigital/を入力し、これらの URL でも接続できない場合は、3 番目の URL http://192.168.●●.△△を入力することで操作画面を開いてください。 ここまでの手順でネットワーク接続はすべて完了です。 ※お使いのデバイスの OS やブラウザによって接続できる URL が異なります。 ※使用開始後に Wi-Fi ルーターの電源が切れた場合は、先の URL を入力しても操作画面が開けなくなる場合があります。その場合はフィルター本体をリセットし、もう一度やり直してください。

3. 各種設定

3.1 設定（全体）

	⚙をタップし、接続されている全ての本体機器の設定をおこないます。
	設定したい項目を選択します。 トップ画面に戻ります。 新しい水槽や 2 台目以降のエーハイムデジタル機器を設定します。 全ての本体機器の初期設定の内容変更や、工場出荷時の状態へリセットをおこないます。 お知らせメール用のメールアドレスを設定します。
	「設定」より日時の設定をおこないます。各モード機能では作動させる時間の設定も可能となっています。希望の時間に正しく作動させるために以下の手順で必ず日時の設定をおこなってください。最初から日本の日時設定になっている場合は以下の手順は不要です。

	「日時」をタップします。
	「日付」を設定します。 「世界の現地時間選択一覧」をタップします。
	一覧の中から「Osaka,Sapporo,Tokyo・・・」などと表示された日本時刻を選択します。
	最後に「現在時刻を使用」をタップしてください。自動でデバイス（スマートフォン、タブレット等）の情報が反映されます。

3.2 概要（個別）



「概要」をタップし、設定したい項目を選択します。

手動でオン／オフできます。

現在のステータスが表示されます。

現在の pH 値が表示されます。

モード設定ができます。

次の校正までの日数（目安）が表示されます。

3.3 設定（個別）



選択している個別の本体機器設定をおこないます。

pH コントローラーや水槽の名称を変更します。

Wi-Fi 電波を停止します。一度停止した場合は本体機器側をリセットすることで再度 Wi-Fi 電波を飛ばし始めます。本体機器のタッチポイントに 10 秒程度、指を触れることでリセットできます。

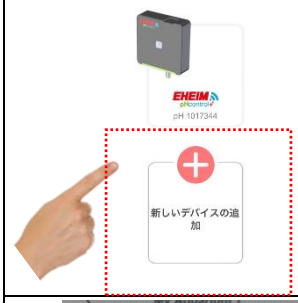
付属の EH5in1 試験紙を使用して測定した水槽水の KH の値を入力します。この KH 値によって設定可能な pH 下限値が変動します。

インジケーターLED の明るさを調整することができます。

	pH センサーの校正ができます。測定値に不安を感じた際、長期保管後など定期的な校正をオススメします。校正液は別売りのエーハイム校正液をご購入ください。 工場出荷時の状態へリセットします。 初期設定の内容変更をおこないます。

3.4 複数台接続の方法

	2 台目以降のエーハイムデジタル機器を接続する手順を解説します。追加したい本体機器はあらかじめ設置して電源を入れた状態にしておきます。この時、プロフェッショナル 5e、もしくはオートフィーダープラスは 1 台目に設定できず、設定しようとすると左画像のようなエラー画面が表示されます。1 台目には上記 2 種類以外のエーハイムデジタル機器を設定してください。
	ホーム画面で ⚙ をタップします。

	「私の水槽」をタップします。
	「My Aquarium 1」（ご自身で設定した水槽の名称）をタップします。
	「新しいデバイスの追加」をタップします。
	追加したい本体機器を選択します。
	接続可能な本体機器が表示されますのでタップします。「パスワード（本体機器シールに記載）」を入力して「追加」をタップしたら接続完了です。3 台目以降も同様の手順で追加接続します。1 台目はインジケーターLED が青に、2 台目以降は緑に点灯していれば正しく接続されています。

4. 各モード

	2 つのモードのいずれかをタップします。

4.1　マニュアルモード（シンプル）

	初期設定と同じ内容で、ここから変更が可能です。

4.2　マニュアルモード（エキスパート）

	初期設定と同じ内容で、ここから変更が可能です。

4.3 バイオモード（シンプル）

	初期設定と同じ内容で、ここから変更が可能です。

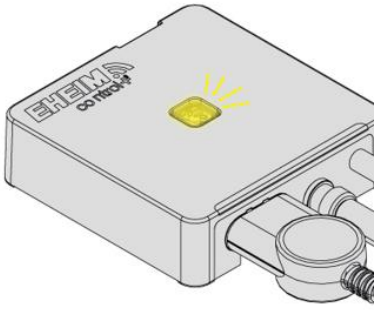
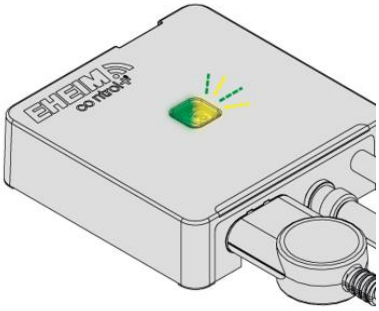
4.4 バイオモード（エキスパート）

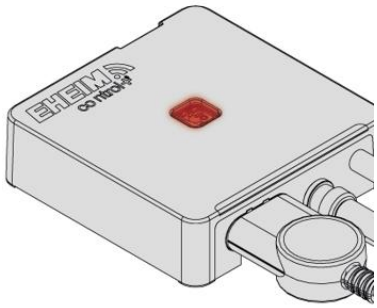
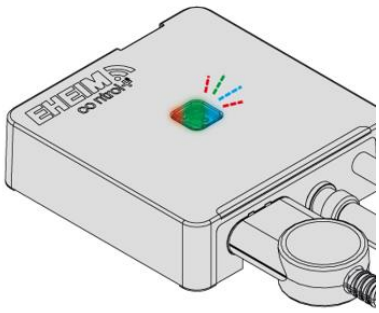
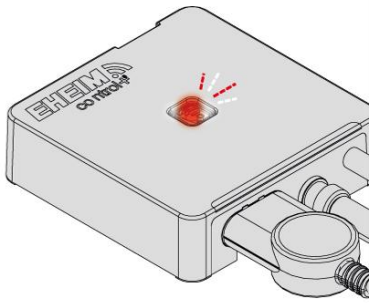
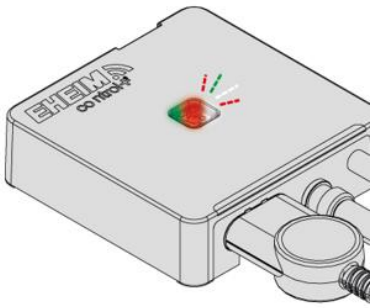
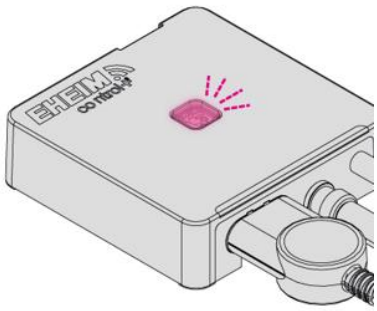
	初期設定と同じ内容で、ここから変更が可能です。

5. インジケーターLED について

	【もしも接続がうまくいかなかったら】 ネットワーク接続がうまくいかなかった場合は、リセットすることで取扱説明書の STEP 1 から再度やり直すことが可能です。リセットは本体機器のタッチポイントに 10 秒程度、指を触れることでおこなわれます。LED が赤/緑/青に点滅し、最終的に青色の点灯になればリセット完了です。

	【インジケーターLED の色に対応する本体機器の状態】 ●青色に点灯① 本体機器の操作準備が整い、無線 LAN によってデバイス（スマートフォン、タブレット、ＰＣ等）との接続が可能な状態（購入時と同じ状態）を示しています。 ●青色に点灯② 正常にご家庭の無線 LAN に接続された状態（1台目）を示しています。
	●緑色に点灯 正常にご家庭の無線 LAN に接続された状態（2台目以降）を示しています。
	●白色に点滅 本体機器のコントロールを開始しています。ネットワーク接続を継続していますので電源やネットワークを切らないでください。白点滅が 1 分以上続く場合、ネットワーク接続が失敗している可能性があります。その場合はリセットしてやり直してください。

	●黄色に点灯 本体機器の無線 LAN 機能が無効になっています。再設定してください。
	●青色に点滅 本体機器（1 台目）が再調整中であることを示しています。
	●緑色に点滅 本体機器（2 台目以降）が再調整中であることを示しています。
	●黄色に点滅 本体機器のソフトウェアの更新中であることを示しています。
	●緑/黄色に点滅 コントロールユニットが全て更新されるまで待機している状態を示しています。

	●赤色に点灯 Web サイトが見つからないため、http：//192.168.1.1/update を開き、ファームウェアをアップデートする必要があります。
	●赤/緑/青色に点滅 ネットワーク設定のリセット、もしくは工場出荷時の状態へのリセットをおこなっています。
	●白⇒赤⇒白と交互に点灯 ホームネットワークへの接続に失敗したことを示しています。（ネットワーク名が間違っている、パスワードが間違っている、無線 LAN の送受信状態が悪い等）
	●緑⇒赤⇒白と交互に点灯 ホームネットワークにアクセスできない状態を示しています。コントロールユニットが再起動中です。
	●ピンク色に点滅 検出モードが作動中であることを示しています。

更新日 2025 年 7 月 18 日

お問い合わせ窓口
〒670-0073　兵庫県姫路市御立中 3-3-20
神畑養魚株式会社　姫路支店　用品部「カスタマーサポート」
TEL 079-297-5420、FAX 079-293-6467